

# 都市計画道路整備プログラムの改定（案）

[ 令和2 ～ 10年度 ]

令和2年 2月

伊 丹 市

## < 目 次 >

---

1. 策定の目的	1
2. 伊丹市の都市計画道路の現状	1
3. プログラムの策定内容	2
4. 策定フロー	2
5. 事業評価項目の設定	3
6. 市民アンケート調査	4
7. 未整備路線（区間）の評価	4
8. 事業着手予定箇所図	5

## 1. 策定の目的

都市計画道路とは、都市の骨格を形成し、安全で安心な市民生活と機能的な都市活動を確保するために、都市計画法に基づき都市計画決定された道路で、交通機能のほか、市街地の形成、消防・緊急活動の円滑化や延焼の遮断等、多様な機能を有しています。

本プログラムは、未整備の都市計画道路について、計画的かつ効率的な整備を進めていくことを目的に策定しています。また、今後、優先的に整備すべき路線と事業の着手予定時期を公表することにより、透明性の確保を図ります。

## 2. 伊丹市の都市計画道路の現状

本市の都市計画道路は、全59路線、計画総延長80.0kmが都市計画決定されています。このうち、約70kmが整備済みであり、整備率は88%となっています。

しかしながら、未整備路線においては、行き止まり道路による通行上の支障、歩行者や自転車の安全確保の必要性など、様々な交通課題を抱えており、安全・安心で快適な社会生活の営み、健全な都市の発展に向け、都市計画道路の整備が求められています。

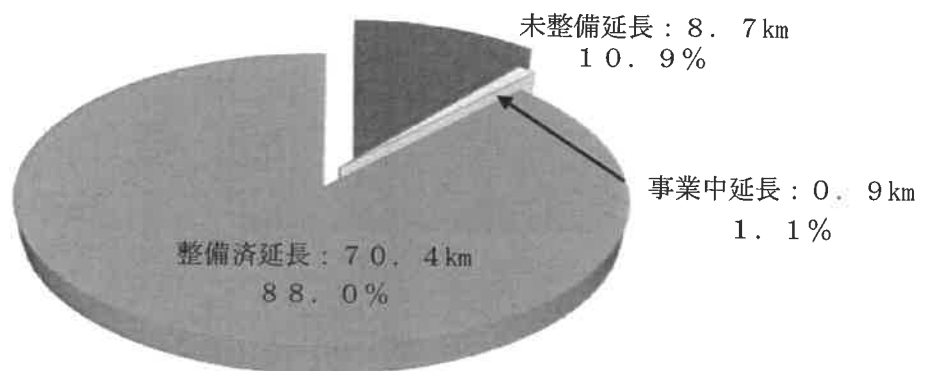


図-1 都市計画道路の整備状況 (平成31年3月末時点)

【整備前】



【整備後】



都市計画道路猪名川左岸線 (桑津工区)

平成29年10月完成

### 3. プログラムの策定内容

本プログラムは、概ね5年毎に改定を行っており、今後の9年間で前期4箇年（令和2～令和5年度）と後期5箇年（令和6～令和10年度）とに分け、兵庫県及び本市施行の都市計画道路事業について、事業着手を予定している路線名（区間）とその時期を公表するものです。

なお、本プログラムは、都市計画道路の中でも幹線街路を対象としており、兵庫県の「社会基盤整備プログラム（平成31年3月）」との整合も図りながら策定しています。

### 4. 策定フロー

現行のプログラムは、未整備路線についての評価を行うにあたり、設定した評価項目をもとに各路線、区間毎に必要なことや優先性についての検証を行っています。また、市民のみなさんのご意見を評価指標のひとつとするため、評価項目として設定した道路の機能や役割についてのアンケート調査を実施したうえで、未整備路線の評価を行っています。

今回、本プログラムの改定にあたっては、平成31年（2019年）度伊丹市民意識調査を通じて、今後の都市計画道路整備の進め方や重要視する点を伺い、その結果を踏まえ見直しております。

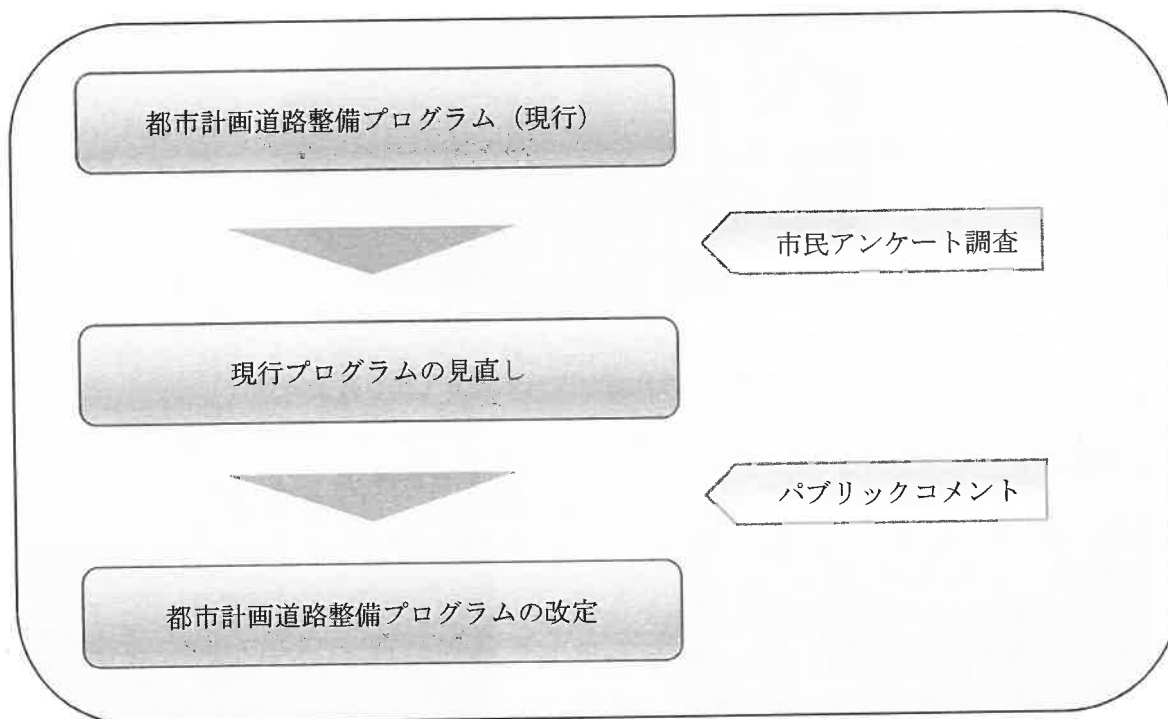


図-2 改定の流れ

## 5. 事業評価項目の設定

都市計画道路は、自動車交通を円滑に処理するだけでなく、災害時における防災機能の強化、景観・環境の向上など様々な機能や役割を持っています。

各路線を評価するにあたり、評価項目として設定した道路の機能、役割については、下記のとおりです。

### I 安全・安心を確保する道づくり

- ①災害発生時の安全確保（災害発生時の避難路の確保、緊急輸送道路の整備、火災時の延焼防止）
- ②救急医療体制の支援（円滑な救急搬送路の確保）
- ③交通安全対策（歩道整備、自転車利用環境整備、交通事故の軽減、福祉施設周辺の道路整備）

### II 快適な生活環境を創造する道づくり

- ④沿道環境の保全改善（景観道路の整備、道路の緑化）
- ⑤良好な市街地の形成（市街地内道路の整備・拡充）

### III 交通渋滞の解消に向けた道づくり

- ⑥渋滞対策（交通混雑の緩和・解消、踏切の解消）
- ⑦公共交通機関等の利用促進（バス路線の整備）

### IV 暮らしと交流を支える道づくり

- ⑧地域間交流の促進（市街地の分断解消、道路ネットワークの充実）
- ⑨地域産業の活性化（産業・物流拠点へのアクセス向上）
- ⑩中心市街地の活性化（中心市街地の活性化支援、駅周辺の道路整備）

### V 都市の骨格形成

- ⑪都市の骨格形成（都市内道路ネットワークの形成、I C・空港等交通拠点へのアクセス向上）

## 6. 市民アンケート調査

平成31年（2019年）度伊丹市民意識調査にて、「都市計画道路の整備に関するアンケート調査」を実施しました。調査内容として、今後、本市の都市計画道路の整備を進めていく上で、評価項目として設定した機能や役割のうち、どの項目を重要視して整備を進めていくべきか、意見収集を行いました。

調査の結果、大分類でみると「I 安全・安心」が66.4%と最も高く、近年の災害発生時の安全確保や交通安全対策等への全国的な取り組みに関する意識が高い傾向となっています。その他の項目については、下図のとおりです。

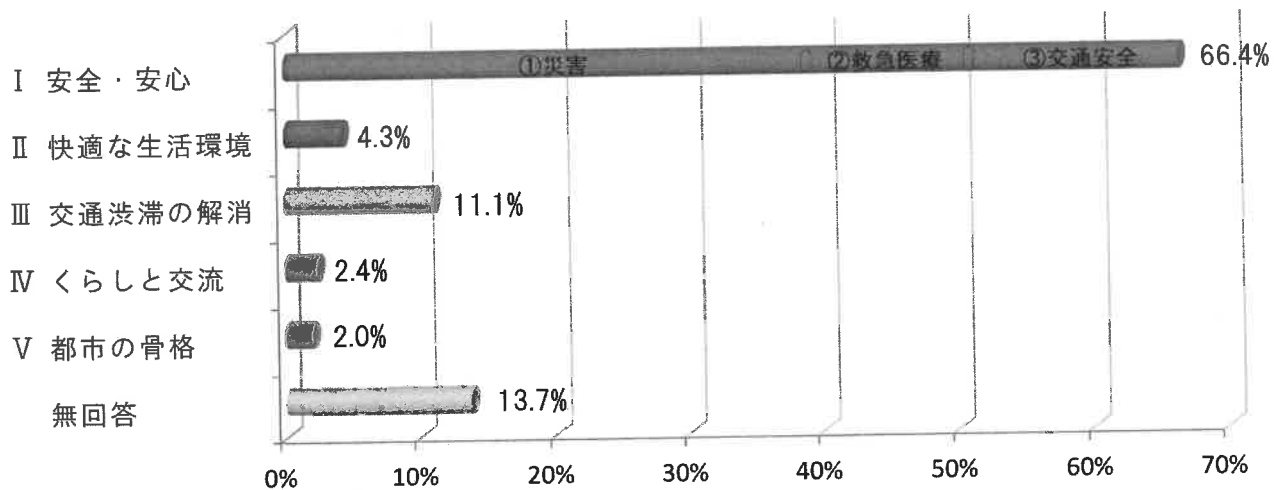


図-3 平成31年（2019年）度伊丹市民意識調査結果  
【都市計画道路整備で最も重点的に進めるべき点（大分類）】

## 7. 未整備路線（区間）の評価

未整備路線における道路の位置づけや役割等を整理し、設定した評価項目に基づき、各路線、区間毎に評価を行い、今後、9年間で優先して整備すべき箇所を選定しています。

表-1 事業着手予定路線の評価結果

事業主体	路線名及び工区名	I 安全・安心			II 快適な生活環境		III 交通渋滞の解消		IV 暮らしと交流			V 都市の骨格
		①災害	②救急医療	③交通安全	④沿道環境	⑤市街地	⑥渋滞対策	⑦公共交通	⑧地域交流	⑨地域産業	⑩中心市街地	⑪骨格
兵庫県	塚口長尾線 [美鈴]	●	●	●	●			●				●
伊丹市	口酒井森本線 [森本南]	●	●	●	●			●		●		●
	宝塚池田線 [大野]	●	●	●	●	●		●	●			●

8. 事業着手予定箇所図

◆ 事業中路線

図面 番号	路線名	工区名	計画 延長	計画 幅員	事業 主体	事業 年度	完了 予定 年度
①	塚口長尾線	昆陽南	365m	18m	兵庫県	H30	前期
②	山田伊丹線	昆陽東町	526m	16m	伊丹市	H30	後期

※いずれの事業も社会経済情勢などの変化により、  
事業の着手及び完工時期が変わることがあります。

◆ 令和10年度までの着手予定路線

図面 番号	路線名	工区名	計画 延長	計画 幅員	事業 主体	事業 年度	完了 予定 年度
③	塚口長尾線	美鈴	520m	18m	兵庫県	後期	継続
④	口瀬井森本線	森本南	440m	16m	伊丹市	後期	継続

◆ 事業の方針及び時期等について、引き続き検討・調整を要する  
路線

図面 番号	路線名	工区名	計画 延長	計画 幅員	事業 主体	事業 年度	完了 予定 年度
⑤	宝塚池田線	大野	510m	16m	伊丹市	—	—

凡 例	
	整備済路線
	未整備路線
	事業中路線
	前期着手予定路線 【令和2～5年度】
	後期着手予定路線 【令和6～10年度】
	検討・調整路線

